



平成 18 年 1 月 16 日

各 位

会 社 名 ディナベック株式会社  
代表者名 代表取締役社長 長谷川 護  
問合せ先 事業開発部 朱 亜峰  
TEL : ( 029 ) 838 0540  
E-mail : [info@dnavec-corp.com](mailto:info@dnavec-corp.com)

**中国で『センダイウイルスベクターを用いた  
A I D S ウイルスワクチン』特許成立のお知らせ**

新興バイオベンチャーであるディナベックがセンダイウイルスベクターを用いたエイズワクチンに関する特許出願（中国出願 01800117.3 号）『センダイウイルスベクターを用いた A I D S ウイルスワクチン』が中国で成立いたしましたのでご報告申し上げます。

今回中国で成立致しました特許はセンダイウイルスベクターを用いたエイズ治療用ワクチンの物質、用途および方法を権利範囲に含んでおります。具体的には、免疫不全ウイルスのウイルス蛋白質をコードするセンダイウイルスベクターを含むワクチンに関する特許であります。免疫不全ウイルス蛋白質をコードするセンダイウイルスをマカクサルに鼻腔内投与することにより、免疫不全ウイルスに対する防御免疫を効率的に誘発することに成功しました。鼻腔内へのワクチン接種により、センダイウイルスベクターを介した抗原遺伝子の発現が鼻腔粘膜および局所リンパ節で検出され、有意なレベルの抗原特異的細胞性免疫応答が誘導されました。

同内容につきましては、中国以外にも、日本、アメリカ、ヨーロッパ、香港および韓国にも特許出願しております。今回の中国出願の特許査定により、中国経由で出願している香港出願についても登録申請手続きを行い、早期に特許登録が見込まれるものであります。

中国では 2004 年までのエイズ感染者が既に 84 万人に達していると報道されており、エイズの蔓延が大きな社会問題となっております。中国政府はエイズ患者対策を国家的な至急課題として全力取り込んでおります。当社ではセンダイウイルスベクターを用いた A I D S ウイルスワクチンの開発を中国国家プロジェクトとして中国 CDC 及び北京工業大学と共同で進めており、現在まで中国で広く流行している A I D S ウイルスの遺伝

子を利用して開発したワクチンは、ネズミとサルを用いた前臨床試験では他のベクターに比べて遥かに高い有効性を示しています。今回中国でA I D Sウイルスワクチンに関する特許が成立したことで、中国でのワクチン開発が一層拍車がかかることが予想されます。

ディナベックは2003年に設立され、アステラス製薬、協和醗酵、三共、久光製薬の他、ベンチャーキャピタル多数が出資しております。ディナベックが独占の実施権をもつセンダイウイルスベクター関連の基本特許は、日本、米国、中国、欧州で成立しており、ディナベックがベクター技術と「細胞質遺伝子治療」「RNA型遺伝子ワクチン」の新領域で世界的にきわめて優位な立場を取得しており、特に基本特許として「物質としての権利」を受けているため、同等の競争者の出現を許さず、他社のベクターと比較しても、事業化した場合の特許上の問題が大幅に軽減されます。これまで、このセンダイウイルスベクターを用いてアルツハイマーなどの脳神経系、循環器系、呼吸器系、筋骨格系、がん、エイズ等の多岐にわたる疾病領域で遺伝子治療、遺伝子ワクチンの開発を積極的に進めてきました。すでに一昨年11月、中国最大の製薬企業である北京医薬集団有限責任会社と、重症虚血肢を対象とする遺伝子治療製剤の導出契約を締結しております。中国は世界で初めて遺伝子治療製剤が市販化された国であり、北京医薬集団はこの臨床開発を急ぐとしています。

また当社はこのベクターの試験管内、動物個体レベルにおける高い遺伝子導入能、発現能を利用して、組換えタンパク質の発現やタンパク質の新機能の解析、新規遺伝子の機能解析研究等、基礎研究から創薬開発までに至る幅広いバイオ分野でのビジネス展開を行っています。

このような成果を背景として、ディナベックは今後、世界レベルで確立した強い知的財産権を活用して、国内外の大手製薬企業などとの提携関係を強化してグローバルな成功を求めて事業を進めてまいります。

以 上